

# 御嶽海後援会便り NO. 37

令和7年8月29日

## 令和7年七月場所 西前頭十六枚目 10勝5敗

### IGアリーナで白星発進 20場所ぶりに2桁の白星

猛暑、酷暑の夏となりましたが、会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

御嶽海関は、1場所で幕内に復帰し、IGアリーナのこけら落としとして開催された七月場所に臨みました。

復帰初日、嘉陽関との立ち合いを制し、引きに反応良く足を運んで押し出し、IGアリーナのこけら落としの場所を白星発進しました。二日目、共に再入幕を果たした英乃海関を粘り強い相撲で下しました。三日目、先場所見せ場無く敗れた琴栄峰関を一方的に下し、四日目、獅司関にも前に出る相撲で白星を重ね、五日目も分の悪い琴勝峰関に攻める相撲で勝ち、序盤戦を5連勝で終えました。

六日目、1回目のツアード、正代関にも寄り切りで勝ち、ただ1人の全勝となりました。七日目、藤ノ川関（若碇から変更）の立ち合いの変化に対応したもののがめきれず突き落として敗れ、連勝が止りました。中日、隆の勝関に今場所初めて押し込まれ敗れました。九日目、対戦連敗中の翠富士関を終始攻める相撲で寄り切り、勝ち越しに王手をかけました。十日目、十両の湘南乃海関との対戦が組まれ、危なげなく寄り切りで下し、幕内で7場所ぶりの勝ち越しを決め、1敗の一山本関を追い、後半戦を迎えることになりました。

十一日目、草野関、十二日目は2回目のツアードでしたが、熱海富士関に敗れ、優勝争いから大きく後退しました。十三日目、狼雅関と四つ相撲になったものの反応良く先に攻め、上手投げで下し、連敗を止め、2桁の白星にあと1つとなりました。十四日目、美ノ海関を攻めたもののかわされ敗れました。千秋楽、場所前に稽古を重ねた時疾風関を前に出る相撲で下し、20場所ぶりの2桁の白星をあげました。

優勝は、五日目に御嶽海関に敗れ、そこから連勝を重ねた琴勝峰関で、13勝2敗で初優勝を果たしました。今回も場所を振り返り、紙面とします。

## 西前頭十六枚目としての七月場所

### 御嶽海関からのひとこと



場所前 今の自分でも応援してくれる人がいる。そういう人を大切にしたい。本当に声援に応えたい。押し相撲、頭を上げずに前に出る相撲を取りたい。新たな気持ちで頑張りたい。まずは勝ち越しを目指す。

場所を終えて うれしいのと、もっと厳しい相撲を取れた。上を目指したい。

来場所に向けて 自分の相撲を取りきる。体づくりをし、負けない相撲を取る。

場所	勝敗	取組	決まり手	コメント（各報道・情報機関からの要約）
初 日	○	前十六 嘉 陽（寄り切り）	（寄り切り）	「相手の引きは、予想していた。新しい会場になったし、あそこで気持ち良く勝てて良かった。」
二日目	○	前十五 英 乃 海（押し出し）	（押し出し）	「勝ってよかったです。イメージとは程遠いけれど、白星を取れたのはうれしい。準ご当所場所なので、声援を感じている。」
三日目	○	前十七 琴 栄 峰（押し出し）	（押し出し）	「しっかりと対応できている。いいのか悪いのか、今場所は自分に重きがある。」
四日目	○	前十七 獅 司（押し出し）	（押し出し）	「自分の相撲に集中している。しっかりと攻められた。体勢が低く出られたのは良かった。」
五日目	○	前十五 琴 勝 峰（押し出し）	（押し出し）	「しっかりと踏み込んでいるし、反応できている。まだまだこれから。残り10日間あるので引き締める。」
六日目	○	前十三 正 代（寄り切り）	（寄り切り）	「自分の相撲が取れている。まだ中盤が始まったばかり。厳しい相撲を取っていかないと・・・」※ただ1人の6連勝
七日目	●	前十四 藤 ノ 川（突き落とし）	（突き落とし）	「もっと厳しい相撲を取っていかないといけないと思われた。反応

- はできたので、全ては自分次第。」
- 中　　日 ● 前十一 隆の勝 (押し出し) 「いったん休息。また明日から頑張るよ。場所は半分が終わつたばかりなので、まだこれから。気を引き締めていくよ。」
- 九　　日目 ○ 前十二 翠富士 (寄り切り) 「気持ちよく相撲が取れて、結果が伴っている。残り連敗しないようにやっていく。体は動くし反応がいい。」
- 十　　日目 ○ 十二 湘南乃海 (寄り切り) 「十両に落ちて、また幕内で勝ち越すのは特別なものがある。下半身の安定感、前に出るスピードが戻りつつある。」
- 十一日目 ● 前十四 草野 (上手投げ) 「今の実力でしょう。まだ場所は終わっていない。残りもあるから頑張るよ。」
- 十二日目 ● 前十 热海富士 (突き出し) 「ここから厳しい相撲を取っていきたい。体は動いているから来場所のためにも。」
- 十三日目 ○ 前十 狼雅 (上手投げ) 「正攻法の四つ相撲の相手にはあれが利く。親方衆からも指導されていた。先手先手でいこうと考え、それがうまくはまった。相手が見えていて、体が良く動いてくれた。」
- 十四日目 ● 前十三 美ノ海 (押し出し) 「立ち合いは悪くなかったけど、攻めの厳しさがなかった。気持ちのいい相撲を取って終わりたい。」
- 千秋楽 ○ 前十一 時疾風 (押し出し) 「早いうちに勝ち越しを決めた後も、自分の相撲を厳しく取ろうと思えた。」

## ○七月場所(六日目)より



IGアリーナ・櫓・相撲幟・



取組前・御嶽海関への応援



取組後・御嶽海関の白星に沸く



土俵入り



犬山市善光寺の稽古場

七月場所は、2桁の白星をあげ、相撲内容も良く、価値ある場所となりました。後援会の皆様も久しぶりに気持ちの良い場所になったことと思います。これまでのお力添えに感謝申し上げます。また、出羽海部屋木曾合宿にもお越しいただき、応援、激励をいただき、ありがとうございました。

九月場所も引き続き力強い応援をよろしくお願ひいたします。

## －新弟子募集中！(出羽海部屋からのご連絡)－

昨年から力士入門規定が変更され、身長・体重の規定が撤廃されました。

出羽海部屋では体験入門が可能です。相撲経験者だけでなく、野球・サッカーなどから転身して大相撲で立身した方も大勢います。大相撲にチャレンジしたい方の情報があつたらお待ちしております。